

パッケージ内容

●スイッチングハブ(本体)1台

ACコネクタ
付属の電源コード (AC100V
用) を接続します。



電源ケーブル抜
け防止バンド

インジケータ
右記参照。

100BASE-TX/10BASE-Tポート
100BASE-TX/10BASE-Tの機器を接続するポート
です。ハブ同士をカスケード接続する場合はも
このポートを使用します。通信速度は自動的に認
識されます。

- 電源コード (AC100V用)1本
- 2P-3P変換コネクタ1個
- ゴム足1式(4個)
- 取り付け金具2個
- 取り付け金具用ねじ8個
- 安全にお使いいただくために必ずお守りください(保証書つき)1枚
- 電源ケーブル抜け防止バンド1個

※ 保証書は、「安全にお使いいただくために必ずお守りください」に印刷されています。
修理の際は、必要事項を記入のうえ、切り取って本製品と一緒に送ってください。
※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

設置

■ 設置上の注意

- ・くらくつ台の上や傾いた場所など、不安定な場所には設置しないでください。
- ・本製品の上に、本製品や発熱する物を載せないでください。
- ・ケーブル類は足などが引っかからないように配線してください。
- ・他の機器や壁などで、本製品の通風口をふさがないようにください。
- ・電源ケーブルは必ず本製品に付属の物を使用してください。他の製品の電源ケーブルは仕様
異なるため、本製品の故障や火災の原因となるおそれがあります。

■ 床やスチール製デスクの側面などに設置する場合

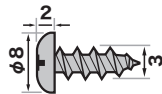
床に設置する場合は、本製品底面の四隅に付属のゴム足を貼り付けて設置してください。
また、別売のマグネットキット「BS-MGK-A」をご使用いただくと、スチール製デスクの側面
など金属部分に貼り付けられます。マグネットの取り付け方法は、「BS-MGK-A」に添付のマニ
ュアルを参照してください。
非スチール素材の壁面へ取り付けの場合は、別売のマグネット取付金具「LSW-KG5P」をご使
用ください。

■ 19 インチラックへの取り付け

付属の取り付け金具と取り付け金具用ねじを使用してください。

■ 壁に取り付ける場合

壁への取り付けは、右図のようなねじと取り付け金具を使います。
壁にねじを固定する間隔と取り付け金具の固定方法については、
このパッケージの内側を参照してください。

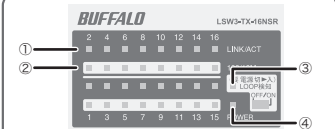


ネットワークに接続できないとき

次のことを確認してください。

- ・本製品に電源ケーブルが接続されているか。電源ケーブルがコンセントに接続されているか。
- ・UTPケーブルは正しく接続されているか。断線していないか。
- ・リンク/アクティブランプは点灯しているか。

インジケータ詳細



- ① リンク/アクティブ
ランプ
ポートのリンク状態
と動作状態を表示し
ます。
点灯(緑)：リンク時
点滅(緑)：データ送
受信時
- ② スピードランプ
伝送速度を表示しま
す。
- 点灯(緑)：100M 動作
時
消灯：10M 動作時
- ③ ループ検知ランプ
ループ検知時に点滅
(赤) します。
- ④ 電源ランプ
電源のON/OFFの状態
を表示します。
点灯(緑)：電源ON時

ループ検知機能

本製品は、ネットワークに障害を及ぼすネットワークのループを検知し、ランプで通知する機能を搭載しています。

■ ループとは

LANケーブルの両端を同じハブに接続したり、ハブをループ(円環)状に接続したりすることで、ネットワーク内をデータが循環し続けることです。データが循環し続けること通信に障害を及ぼし、通信ができなくなる場合があります。

■ ループ検知機能の動作

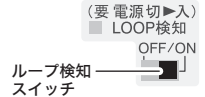
ループ検知機能OFFの場合：ネットワークのループを検知しません。
ループ検知機能ONの場合：ネットワークのループを検知すると、1秒間隔で本製品前面のループ検知ランプ、リンク/アクティブランプ、スピードランプが点滅します。

■ ループ検知機能のOFF/ONの切り替え方法

1. 本製品前面のループ検知スイッチのOFF/ONを切り替えます。
 2. 電源ケーブルをコンセントから抜いて、差しなおします。
- ※電源のOFF/ONを行わないと設定が反映されません。

■ ループを検知したとき

配線がループ状にならないようにつなぎ直してください。
※ループ検知ランプは、ループを解消して本製品の電源のOFF/ONを行わない限り点滅し続けます。



注意

- ・ループ検知機能がONの場合、定期的(約2秒間隔)に本製品からループ検知パケットを送信します。ループ検知パケットを送信したくない場合は、ループ検知機能をOFFでご使用ください。
- ・ループ検知機能は、全てのループの検知を保障する機能ではありません。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

■ 基本仕様

| | |
|----------|---|
| 対応規格 | IEEE802.3 (10BASE-T)、 IEEE802.3u (100BASE-TX)、 IEEE802.3x (Flow Control) |
| ポート数 | 16 ポート |
| 適合ケーブル | 10BASE-T：カテゴリ 3 以上 2 対 or 4 対 UTP ケーブル、 (※1)(※2) 100BASE-TX：カテゴリ 5 以上 2 or 4 対 UTP ケーブル |
| コネクタ形状 | RJ-45 型 8 極コネクタ |
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力(最大) | 3.0W |
| 外形寸法 | W190×D125×H43mm |
| 本体重量 | 750g (本体のみ) |
| 動作環境 | 温度：0～40℃ 湿度：10～85% (無結露) |
| 取得規格 | VCCI ClassA |

※1 本製品は、ケーブルの種類(ストレートケーブル/クロスケーブル)を、自動的に判別しますので、どちらのケーブルでも問題無く使用できます。

※2 自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常にならない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。

※3 本紙「ループ検知機能」を参照してください。

※4 おまかせ節電機能は、ポートのリンク状態やLANケーブルの長さを実動判別し、使用電力を調整する機能です。

■ 機能仕様

| | |
|---------------------|---|
| 伝送速度 | 10Mbps (10BASE-T) 100Mbps (100BASE-TX) |
| スイッチングデータ 転送方式 | Store & Forward |
| 伝送路符号化方式 | Manchester-coding (10BASE-T) 4B5B/MLT-3 (100BASE-TX) |
| アクセス方式 | CSMA/CD |
| データ転送速度 (スループット) | 14,881 パケット / 秒 (10BASE-T) 148,810 パケット / 秒 (100BASE-TX) |
| アドレステーブル | 8,000 (セルフラーニング) |
| バッファ容量 | 256KBytes |
| エージング時間 | 約 300 秒 |
| フローコントロール | IEEE802.3x (Flow Control / 全 二重動作時) パケットプレッシャー (半二重動作 時) |
| 伝送距離(最大) | 100m |
| ループ検知機能 (※3) | 搭載 |
| おまかせ節電機能 (※4) | 搭載(リンク状態、ケーブル長) |